

平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年11月9日

上場会社名 アグロ カネショウ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4955 URL <http://www.agrokanesho.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫛引 博敬
 問合せ先責任者(役職名) 経理部統括部長 (氏名) 高橋 克幸 (TEL) 03 (5570) 4711
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	11,905	3.0	1,853	2.3	1,877	4.4	1,174	△31.5
29年12月期第3四半期	11,555	1.6	1,812	△2.6	1,798	△4.4	1,714	38.5

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 1,142百万円(△57.0%) 29年12月期第3四半期 2,655百万円(577.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	92.93	—
29年12月期第3四半期	135.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	29,583	21,887	62.6
29年12月期	26,494	21,208	67.1

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 18,521百万円 29年12月期 17,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	10.00	—	12.00	22.00
30年12月期	—	10.00	—		
30年12月期(予想)				12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,902	9.0	2,371	13.1	2,379	13.6	1,316	△31.5	103.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年12月期3Q	13,404,862株	29年12月期	13,404,862株
30年12月期3Q	735,464株	29年12月期	735,361株
30年12月期3Q	12,635,941株	29年12月期3Q	12,649,785株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策効果もあり、企業収益や雇用情勢の改善が続く緩やかな回復基調で推移したものの、米中を中心とした通商問題の動向など海外経済に不確実性が高まっており、不安の多い状況にあります。また国内においては、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震ならびに台風被害も多く、全国各地に多くの農業被害が発生しており、今後の影響が予想されます。

農薬業界においては、海外大手メーカーの統合等が実行段階に移り新たな事業体制が生まれつつあり、今後国内農薬業界へも影響があるものと予測されます。また、農協改革や農協統合（県農協設立）に向けての動きが広がっており、これによる流通の変革も予測されるところです。

このような情勢の中で当社グループは、経営理念である「我が信条」（お客様のため、社員のため、社会のため、株主のためという4か条）ならびに「どこまでも農家とともに」をモットーとして技術普及・販売を展開しております。そして100年企業を目指すために、「Lead The Way 2025」をスローガンとした「長期事業計画」ならびに「中期事業計画」の3年目に突入し、引続き「強固な経営基盤づくり」のため社内外で活動しております。

研究開発部門においては、創薬のための研究開発を鋭意継続しつつ、製品の導入にも積極的に取り組むことで、世界市場を意識したポートフォリオの充実を図っております。

営業技術普及部門においては、引き続き土壌消毒剤を主力製品とし、開設4年目になる土壌分析室を活用し、農業の根幹となる土づくりのお手伝いをすべく活動を行いました。さらに、グローバルGAP認定取得支援ならびに地域の農業・栽培問題解決のための研究実践農場の運営などに取り組んでおります。

生産部門においては、平成30年2月から建設を進めて参りました山口新工場は、当初の予定通り11月に竣工を迎えました。新工場は7年前の東京電力福島第一原子力発電所の事故により操業停止となった福島工場に代わる主力工場として、茨城工場、直江津工場とともに、当社製品の安定供給と物流効率化を目指して参ります。

当第3四半期連結累計期間においては、主要剤である土壌消毒剤、害虫防除剤等が特に海外市場において順調に売上を伸ばし、当社グループの売上は前年同四半期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は119億5百万円（前年同四半期比3億5千万円の増加、前年同四半期比3.0%増）、営業利益は18億5千3百万円（前年同四半期比4千1百万円の増加、前年同四半期比2.3%増）、経常利益は18億7千7百万円（前年同四半期比7千9百万円の増加、前年同四半期比4.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億7千4百万円（前年同四半期比5億4千万円の減少、前年同四半期比31.5%減）となりました。

なお、当社グループの売上高は事業の性質上、業績に季節的変動があり、第1四半期及び第2四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間と比較して多くなる傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は295億8千3百万円（前連結会計年度比30億8千9百万円の増加、前連結会計年度比11.7%増）となりました。これは主に山口工場建設による有形固定資産が30億6千1百万円増加したことによるものです。

(負債及び純資産)

当第3四半期連結会計期間末における負債は76億9千5百万円（前連結会計年度比24億1千万円の増加、前連結会計年度比45.6%増）となりました。これは主に山口工場建設のための借入があり、長期借入金28億9千6百万円が増加したことによるものです。純資産は218億8千7百万円となりました。その結果、自己資本比率は62.6%、1株当たり純資産額は1,461円95銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等に基づいて予測し作成したものであり、リスクや不確定要素が含まれております。

従いまして、実際の業績は、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等、今後様々な要因によって、記載の金額の予想数値と異なる可能性がありますのでご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,572,628	14,285,209
受取手形及び売掛金	3,827,353	4,985,045
商品及び製品	2,088,454	2,032,992
仕掛品	141,721	177,096
原材料及び貯蔵品	1,020,974	1,452,327
繰延税金資産	226,828	364,797
その他	501,457	260,351
貸倒引当金	△594	△572
流動資産合計	23,378,824	23,557,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,271,441	1,228,792
機械装置及び運搬具(純額)	81,982	39,329
土地	552,453	1,808,782
建設仮勘定	251,558	2,143,753
その他(純額)	73,244	71,023
有形固定資産合計	2,230,679	5,291,681
無形固定資産		
のれん	229,127	135,939
その他	26,644	24,986
無形固定資産合計	255,771	160,925
投資その他の資産		
投資有価証券	206,952	149,318
長期預金	224,000	225,140
繰延税金資産	14,478	24,562
その他	210,453	201,317
貸倒引当金	△26,800	△26,800
投資その他の資産合計	629,083	573,539
固定資産合計	3,115,535	6,026,146
資産合計	26,494,360	29,583,394
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,429,619	1,054,319
1年内返済予定の長期借入金	—	321,216
未払法人税等	841,940	708,150
賞与引当金	44,095	159,979
その他	1,329,798	1,290,053
流動負債合計	3,645,453	3,533,718
固定負債		
長期借入金	—	2,575,656
退職給付に係る負債	311,153	300,337
役員株式給付引当金	24,305	42,535
長期末払金	523,542	523,542
その他	781,137	719,847
固定負債合計	1,640,138	4,161,918
負債合計	5,285,591	7,695,636

純資産の部		
株主資本		
資本金	1,809,177	1,809,177
資本剰余金	2,145,076	2,145,076
利益剰余金	13,994,021	14,888,016
自己株式	△549,643	△549,915
株主資本合計	17,398,633	18,292,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,278	67,459
為替換算調整勘定	244,412	135,629
退職給付に係る調整累計額	31,381	26,533
その他の包括利益累計額合計	377,072	229,622
非支配株主持分	3,433,062	3,365,780
純資産合計	21,208,768	21,887,758
負債純資産合計	26,494,360	29,583,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	11,555,114	11,905,476
売上原価	6,533,107	7,002,957
売上総利益	5,022,006	4,902,519
販売費及び一般管理費	3,209,477	3,048,672
営業利益	1,812,529	1,853,846
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,186	4,277
受取地代家賃	12,003	11,762
為替差益	—	20,302
その他	5,577	3,491
営業外収益合計	22,767	39,834
営業外費用		
支払利息	1,006	5,903
為替差損	6,573	—
支払手数料	27,696	7,238
その他	1,781	3,188
営業外費用合計	37,057	16,330
経常利益	1,798,239	1,877,350
特別利益		
投資有価証券売却益	—	59,000
受取補償金	1,267,297	—
特別利益合計	1,267,297	59,000
特別損失		
研究開発中止に伴う損失	249,585	—
特別損失合計	249,585	—
税金等調整前四半期純利益	2,815,951	1,936,350
法人税、住民税及び事業税	1,141,511	704,802
法人税等調整額	△306,926	△131,150
法人税等合計	834,584	573,652
四半期純利益	1,981,367	1,362,698
非支配株主に帰属する四半期純利益	266,440	188,437
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,714,927	1,174,261

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,981,367	1,362,698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,244	△33,819
繰延ヘッジ損益	352	—
為替換算調整勘定	656,689	△181,139
退職給付に係る調整額	△1,650	△4,848
その他の包括利益合計	673,635	△219,807
四半期包括利益	2,655,003	1,142,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,124,581	1,026,810
非支配株主に係る四半期包括利益	530,422	116,080

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、農薬の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。